



第31回保存する会総会 8月6日 水野地域交流センター



あいち平和のための戦争展 8月11日～14日
市民ギャラリー矢田

会員になって頂いた
渡辺さん



カンパを頂いた遠山さん(左)
と小野木さん(右)



3年ぶりの見学会
8月22日 広島



戦跡保存シンポも対面では3年ぶり開催(広島) 8月21日

3年ぶりに豊橋の榎村さんと再会(寺脇)

出会いの夏！再会の夏！



瀬戸地下
軍需工場
跡を保存
する会

会報

NO.171
2022年
9月15日

瀬戸市紛町64-1
瀬戸市職労組 事務所
0561-84-4760
fax 84-4767
郵便振替口座番号
00820-9-105120

連絡先

事務局
梅野
090-3837-7050
寺脇
0572-23-5899
fax 同上
携帯
090-6575-4370

Eメール
tera-m@ob.aitai.ne.jp



ありがとう

ございました！

2022年度(8月3日まで)
会費およびカンパを頂いた方
瀬戸市 土屋鋼平さん 10000円
細江弘年さん 10000円

2023年度(8月3日以降)
会費およびカンパを頂いた方

瀬戸市 大島武彦さん 20000円

名古屋市 村田 護さん 20000円
村瀬紀生さん 30000円
渡辺尚弘さん 10000円

春日井市 金子 力さん 20000円
豊橋市 榎村愛子さん 10000円

中津川市 遠山洋子さん 10000円

神戸市 青木政明さん 40000円

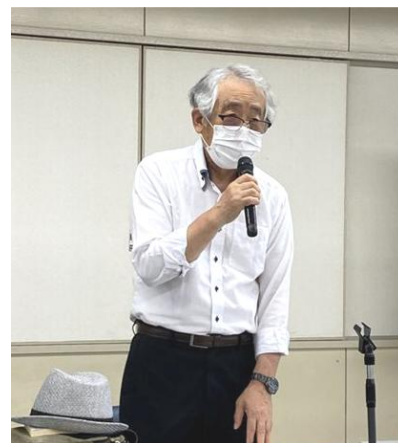
愛航研究会 渡辺哲国さん 50000円
蛸島 直さん 50000円

2022年9月10日現在
148名 (+3-0)
なお、170号でお知らせした愛航会
渡辺哲国さん12000円は、誤記で
した、お詫びして訂正申し上げます。

会計 寺脇

戦争展では名古屋在住の西英子から終戦時当時8才の体験談を伺いましたが、次号に掲載させていただきます。

保存する会第31回総会 8月6日(土)



地域教育について熱く語る村瀬紀生さん (上) と創作劇のようす (左)

あいさつする梅野代表

瀬戸地下軍需工場跡を保存する会第31回総会に参加しました。

7/1に「東海ど真ん中」(NHK)での保存する会の活動紹介、水野地域資料館についての進捗状況の報告がありました。33年目の保存する会の活動は事務局の皆さんの粘り強い取り組みがあったからこそ。

記念講演の村瀬紀生氏の「地域を学び・地域で学ぶ 『ほくらの町にも戦争があった』」は、地域のとらえ方、教科書問題、時代背景に対するの考察がありました。現場主義＝「空間」を意識した学習の取り組み、発想の転換や自分なりの学習の流れを持つことの大切さを学びました。交流の中で、人の意見を取り入れ、自分の頭で考え実践する必要性が語られました。教育現場では管理が進み、同調志向が強まっています。これは、社会全体にも浸透していると思います。教室や学校という枠から一步外に踏み出す、新たな空間探しは新しい世界の発見につながると思いました。

「荒木庄平さんのフェイスブックページ」から引用。

8月6日(土)水野地域交流館で保存する会第31回総会が行われました。参加者は16名。前年度の活動報告、会計報告、次年度の活動計画のあと、総会記念講演会では保存する会の立ち上げ人のお一人でもある村瀬紀生さんに「地域を学び・地域で学ぶ」ほくらの町にも戦争があった」と題して講演をしていただきました。村瀬さんは40年以上にわたり、瀬戸市内の小学校教員として活躍されました。ユーモアを交えた「村瀬節」で社会科を中心に現在教育を鋭くめぐりこれからの私たちの活動に大きな指針を与えていただきました。講演内容については次号以降でお伝えします。

第31回 瀬戸地下軍需工場跡を保存する会総会要項

〈会場〉 水野地域交流センター
〈日程〉

13時30分 司会 事務局 野田茂生
あいさつ

1、本年度の活動報告 代表 梅野敏基
事務局長 加藤 徹

2、会計報告 監査報告 会 計 寺脇正治

3、次年度の活動方針 事務局長 加藤 徹

質疑承認

記念講演会

「地域を学ぶ地域で学ぶ

「ほくらの町にも戦争があった」

村瀬紀生さん

15時30分 終了

〈はじめに〉

私たちは、瀬戸に残る地下軍需工場跡を保存し、瀬戸市民の戦地・銃後の苦しみ体験を調査・保存して、再び先の戦争のようなことが起

こらないようにと、微力ながら32年間活動してきました。

ところが、2013年の「秘密保護法」に引き続き、2014年は「集団的自衛権」の閣議決定がなされ、そして2015年は「安保法案」が2017年には「共謀罪法案」が国会で可決されるなど、外国と共に海外で戦争する国になろうとしています。また2022年の2月に起こったロシアによるウクライナ侵攻に伴い、軍事費大幅増額、そして憲法改「正」の動きは過去を顧みない人達によって盲目的に推し進められようとしています。

私たちは、このような動きに強く反対します。そして、あの戦争によって引き起こされた国内外の多くの犠牲を無駄にすることなく、平和な日本と国民生活、そして世界平和へ、多くの人々と力を合わせていきたいと思えます。

1、本年度の活動報告

(21年8月～22年7月)

(1) 証言・資料の調査、記録する活動

・瀬戸市と周辺の戦跡調査
9月11日 幡山地区防空壕調査
梅野、加藤徹、芝田、寺脇

(2) 市民・県民に向けた広報活動

2021年
・8月7日 第30回総会
座談会 「次世代に伝承するために」

― 私たちの30年とこれから ―

参加者17名 水野地域交流センター
・8月12日～15日 あいち平和のための戦争展(含ネット展示)
参加 梅野、芝田、寺脇

・10月9日 パルティセと交流フェスタ
展示参加

2022年
・1月22日 現地見学会 22名参加
水野地域交流センター

・5月7日 学習会①
「愛知航空機瀬戸疎開工場」
8名参加 水野地域交流センター

・5月14日 学習会②
「瀬戸の空襲」 7名参加 同右

・5月21日 学習会③
「戦時中の市民生活」 5名参加 同右

・5月28日 学習会④
「戦場に送られた人々」 5名参加 同右

・7月 1日 NHK 19時30分～20時
(愛知岐阜三重3県内の放送)

「東海ど真ん中」 歴史バラエティ

(タイムスリップ岐阜・東海編) 平和の種を探せ!で保存する会の活動が紹介される

・ホームページ 閲覧数 24437(8月3日)
(1年間でアクセス約1200)

(3) 戦争遺跡等の見学会、他団体と交流、

全国で紹介する活動
2021年

・8月27日～28日

第51回空襲・戦災を記録する会全国連絡会議
東京大会(オンライン) 参加 寺脇
・10月2日～3日

第24回 戦争遺跡保存全国シンポジウム
東京・東大和大会 オンライン参加 寺脇
・11月21日 豊川戦跡見学会

「豊川海軍工廠と平和公園」 参加者8名
・12月12日 第37回戦災空襲記録づくり

東海交流会 オンラインで参加・報告 寺脇
・空襲・戦災を記録する会全国連絡協議会誌
「空襲通信」に交流会内容を報告 寺脇

(4) 地下軍需工場跡地を保存・整備する活動

2021年 12月11日 現地整備作業
草刈りおよび用水路橋改修 参加者6名

(5) 組織活動(会報の発行)

・会報を6回(No.165～No.170)発行。

(6) 瀬戸市及び諸機関に対する要請

・水野小学校の水野地域資料館についての問い合わせ 大橋

(7) 保存する会の運営・会員の拡大

・事務局会議を毎月(8月以外)1回開催。
会員数は、8月3日現在 145名。

2、会計報告 ならびに監査報告

(次ページ)

2022年度

瀬戸地下軍需工場跡を保存する会会計報告

1、収支合計

収入	支出	差引残高
549,809	276,675	273,134

2、収入内訳

内 容	金 額
前年度繰越金	341,569
その他(資料・講師謝礼・見学会残金など)	0
年会費およびカンパ	190,000
証言集売上	18,240

3、支出内訳

内 容	金 額
郵送料 会報(165号～170号)・書籍郵送等	142,651
印刷通信費 (コピー紙、封筒、会報印刷代など)	34,121
材料費 (模型材料費、展示パネル制作など)	8,532
会合費 (公民館借用費、謝礼など)	8,500
参加費 (戦争展分担金など)	10,652
調査資料費 (資料、書籍、見学会補助など)	38,929
維持管理費 (遺跡保存管理費)	31,690
雑費 (駐車場代、振込手数料など)	1,600

以上の通り報告します。残金は次年度に繰り越します。

2022年8月 3日 瀬戸地下軍需工場跡を保存する会

会 計

寺 脇 正



会 計 監 査

栄 木 房 子



3、次年度の活動方針(22年8月～23年7月)

(1) 証言・資料を調査、記録する活動

① 地下軍需工場に関する新たな証言や資料、瀬戸地域の戦争体験談、戦時下の市民のくらしや産業・職場の状況などの写真や記録、地域に残っている遺跡などを調査する。

② 瀬戸市にある戦争遺跡を調査し、「瀬戸戦跡マップ」を作成する。

(2) 市民・県民に向けた広報活動

① あいち平和のための戦争展(8月11日～14日 市民ギャラリー矢田)に参加する。

② ピースフェスティバル in 瀬戸に協賛すると共に「戦争体験を語り継ぐ会」に参加する。

9月24日(土) 新郷地域交流センター「戦争は教育からはじまる」

― 廃屋から見つかった教材三点―

③ 地域宣伝に努力する。また、地域の活動・イベントに参加し「地下軍需工場跡を史跡に！」の理解を広める。

④ 瀬戸地下軍需工場跡を見学する会を開催する。(23年1月) 現地見学会

⑤ 瀬戸市生涯学習市民講師として学校や他団体の要請に応じ講演講習ならびに資料を貸し出しを行う。

⑥ 地下軍需工場跡地散策遊歩道マップ・看板等が公共機関に設置できるよう働きかける。

⑦ 瀬戸市民活動センターの登録団体として市民との交流を図る。

(交流フェスタ参加10月8日(土))
 ⑧ インターネットホームページ等デジタルコンテンツを活用する。
 ホームページ
<http://ob.aitai.ne.jp/~tera-n/index.htm>
 2001年8月開設
 フェイスブック(2012年4月開設)
 いずれも「瀬戸地下」で検索
 メール tera-n@ob.aitai.ne.jp

(3) 戦争遺跡等の見学会、他団体と交流、全国に紹介する活動

① 戦争遺跡保存全国ネットワークに参加する。
 第25回戦争遺跡保存全国シンポジウム
 広島大会参加予定
 8月20日(土) 全体会21日(日)、分科会22日(月) 現地見学会
 ② 空襲・戦災を記録する会全国連絡会議
 2022年(8月27日~28日) 開催
 オンライン参加予定

③ 戦災・空襲記録づくり東海交流会に参加する。
 (12月?日(日))
 ④ 戦争遺跡等の見学会を秋(22年 11月(土)?)に開催する。
 ・公共交通機関で行く平和資料館めぐり
 (①) ピースあいち、② 戦争に関する資料館、
 ③ 岐阜市平和資料室
 ・春の戦跡見学会(マイクバス使用)をどうするか?

(4) 地下軍需工場跡地を保存・整備する活動
 ・地下軍需工場跡地の整備(入口などを巡る散策道 草刈、案内表示板の設置等)を行う。
 22年12月 23年?

(5) 組織活動(会報の発行・会員の拡大)

① 会の取り組み・証言・会員からのたよりを会員に伝えるため、会報を年6回程度発行する。(皆様からの御意見・情報・証言をお待ちしております。)
 ② 会の活動費・会報の郵送料にすするため、会費を徴集する。(1年1口1,000円)
 ※振込用紙で送金される場合は、振込手数料込でお願いします。
 ③ 会員を拡大を図る。(8月3日現在145名)

(6) 瀬戸市・県・国への要請

・地下軍需工場跡地一帯が保存され「平和への散歩道」を実現させるため、瀬戸市・県・国に要請する。
 ・「水野の里郷土館(仮称)づくり」
 歴史と自然の宝庫「水野の里」の素晴らしさを伝えるとともに、平和を考える資料館づくりをめざす。

(7) 保存する会の運営

・事務局会議を毎月(8月以外)1回開催。
 毎月第2水曜日午後5時より、市職労組合事務所。

年間活動計画(2022年8月~2023年7月)

月	行事名
8	31回総会(8.6) あいち平和のための戦争展(8.11~14)
9	ピース戦争体験を語り継ぐ会 保存する会担当(9.24) 会報17号発行 事務局会 パルティセと交流会(10.8) 事務局会
10	平和資料館めぐり(11.?) 会報17号発行 事務局会
11	第38回 空襲・戦災記録づくり東海交流会(12.?) 現地整備 事務局会
12	現地見学会ならびに学習会(1.?) ピース戦争体験を語り継ぐ会実行委員会 会報173号発行 事務局会
1	ピース戦争体験を語り継ぐ会実行委員会 春の見学会下見? 事務局会
2	ピース戦争体験を語り継ぐ会実行委員会 事務局会
3	あいち平和のための戦争展実行委員会・ピース戦争体験を語り継ぐ会実行委員会 会報174号発行 事務局会
4	あいち平和のための戦争展実行委員会・ピース戦争体験を語り継ぐ会実行委員会 事務局会
5	春の戦跡見学会(?) あいち平和のための戦争展実行委員会・ピース戦争体験を語り継ぐ会実行委員会 会報175号発行 事務局会
6	あいち平和のための戦争展実行委員会・ピース戦争体験を語り継ぐ会実行委員会 あいち平和のための戦争展実行委員会・ピース戦争体験を語り継ぐ会実行委員会 会報176号発行 事務局会
7	

事務局体制

人事

顧問

加藤錦三 大矢昭夫

代表

梅野敏基
「市民活動センター」担当

事務局長

加藤 徹

会計・会報

寺脇正治
「あいち平和のための戦争展」担当

会計監査

栄木房子

広報・渉外

加藤敏晴
「ピースフェスティバル in 瀬戸
戦争体験を語り継ぐ会」担当

資料・調査

熊谷達也
野田茂生
羽根田正之

芝田政春
大橋正博 (新規)

以上

これからの ご案内!

ピースフェスティバル in せと共催 戦争体験を語り継ぐ会 第4回

「戦争は教育からはじまる」

一廃屋から見つかった戦時中の教材3点を観る一

- ① 4学年前期用「初等科修身掛図」
- ② 「世界興亡図表」
- ③ 「大東亜戦争要図」



今回、みなさまに紹介するのは、瀬戸市内の廃屋にあった掛図三点です。これは、瀬戸市内で「空き家再生プロジェクト」にたずさわってみえる方より寄贈していただいたものです。それを通して教育が子供たちを戦場に駆りたてて行くようすをみてみましょう。

解説「保存する会」事務局 寺脇正治

9月24日(土) 13:30
新郷地域交流センター「さとの家」

瀬戸市東赤重町1丁目100番地 ☎0561-821-3300

愛知環状鉄道「瀬戸口」北へ徒歩10分
(駅は南に向っているので大きく迂回しないといけないのでご注意ください)

瀬戸地下軍需工場跡を保存する会主催

ピースフェスティバル in 瀬戸 「戦争体験を語り継ぐ会」

第2回

「突然、家が奪われるということ」 -ウクライナの人々に重ねて-



満州引揚者

須田雅子さん

7月23日(土) 13:30~15:30 文化センター22会議室で2回目の戦争体験を語り継ぐ会が行われました。当日は46名もの参加者がありました。僅か5歳で8月9日のソ連侵攻から昭和21年の10月まで1年2か月以上に渡る逃避行を経験された須田さんのお話は、幼かった頃とはいえ、現在のウクライナの人々の悲惨な避難生活を彷彿とさせるものがありました。須田さんの詳しいお話は次号以降連載でお伝えします。(寺脇)



第3回 「被爆2世として」 竹元稔郎さん、太田知恵子さん



8月27日、パルティセと4F大会議室で戦争体験を語り継ぐ会第3回「被爆2世として」と題して竹元稔郎さんと太田知恵子さんの講演会が行われました。参加者は35名。下記に参加者の感想を上げます。

感想

・戦争を知らない世代の私ですが、戦争は遠い国のことだと思っていました。が、ロシアのウクライナ侵攻により戦争を身近に感じてきました。戦争はよくないこととだれもが思っています。思っているだけではない。無知・無関心ではいけないと思います。参加しました。

・広島に原爆が落とされ悲惨な状況になった時、日本がすぐに降伏すれば長崎の原爆が避けられたのでは？ロシアが核を使うことを止めるために私達は何をすればよいのか？

・映像や写真を使つての説明が分かりやすかった。「戦争とか何か」について中学校の教科書に載せて全ての中学生に教えるべきだと思います。

・「戦争と社会経済との関係」について話が聞きたい。

・平和教育の必要性を感じています。自分の知らないことが多いと思いました。ありがとうございました。

第25回戦争遺跡保存シンポジウム広島大会



全体会（広島青少年センター） 8月20日



被服廠跡と案内していた方々



歩兵第11連隊碑の前で戦争加害について説明を受ける



つなげる若者たち



被爆遺構展示館＝今年新しく原爆資料館の東側にできた発掘遺構を展示している。実際は一坪程度。
左は現在開発中の地中より発掘された鉄製の水道管。



松代のボランティアガイドの方

8月20日（土）～22日（月）の3日間、広島市において第25回戦争遺跡保存シンポジウム広島大会が行われました。コロナ禍のため対面で開催されるのは3年ぶり、全国から多数の参加者が活発な討議が行われました。

3日間を通して、広島をはじめ、各地の活動の中で若者たちの積極的な参加が見られ、将来に対しての明るい希望を強く感じた大会でした。以下に樫村愛子さん（愛知大学教授）のご報告を掲載します。（寺脇）

戦争遺跡保存シンポジウム広島大会報告

樫村愛子

寺脇さんと私が参加した、第25回戦争遺跡保存全国シンポジウム広島大会（8月20～22日、於広島市青少年センター）について報告します。

瀬戸地下軍需工場跡を保存する会が会員になっている「戦争遺跡保存全国ネットワーク」については、結成当初から寺脇さんは参加していたとのこと、その歴史をたくさんご存知かと思えますのでまた直接お聞きください。私は、館山大会（第19回、2015）、高知大会（第21回、2017）に引き続き、三回目の今回の広島大会に参加した新参者で十分な報告といえるかどうかわかりませんが、それにしても今回の広島大会は感動しました。原爆ドームも広島も、いわゆる日本におけるダークツーリズム、戦争遺跡の原点だからです。その広島がこれまで一回も開催地になつてこなかった理由は、現地の戦争遺跡保存運動体があったのかわかったのかはわかりませんが、戦争遺跡保存全国ネットワークに会としての参加がなかったからです。

コロナ禍で2020年は中止、オンラインの会が続ぎ、3年ぶりに対面の会とのこと、皆さん、嬉しそうに熱気もありました（私は原発公害運動の研究者除本※

Young voice

安部友里絵さんのフェイスブックページ8月11日(ドキュメンタリー番組の感想)と13日の引用しました。(寺脇)

レストハウス地下にある模型

中央にある建物が大正屋呉服店(現レストハウス)



現原爆ドーム



7月下旬、リニューアルされた広島原爆資料館へやっと思行けました😊

(今年の3月に広島へ行った際はまん延防止の為、閉館して入れず😞)

小学生の頃、修学旅行で広島原爆資料館へ訪れた際、強烈な印象を残していた、焼けた皮膚が垂れ下がった状態の親子の蠟人形は残念ながら撤去されていました😞リニューアル前の方が良かったと見る前から勝手に思っていたのですが、いざリニューアルされた館内を巡っていると、苦しい戦況下でも普段通りの生活を送っていた一般市民の日々が一瞬にして奪われた現状がよく伝わる、人々に寄り添った展示内容へと変わっていたように思います。

原爆が落とされる前、何があった場所なのかよく分かっていませんでしたが、原爆ドーム付近では民家や商店、病院やお寺、神社などがあった事が分かる地図があり、ありふれた普通の街に落とされたのだなというのがよく分かり、衝撃を受けました。

レストハウス(※)も行った事がなく、初めて入りました。地下には被爆当時のままの部屋が残されている部分もあり、無料ながら見応えのあるものでした。

夏休みということもあり、小さな子どもさんを連れだご家族の方も多く、親御さんが原爆の事を分かりやすいように子どもに伝えている姿やまた子どもさんが話を聞いて、なぜ?と疑問を持って、親御さんに聞いている場面を度々見かけたのが印象的でした。

少しの事だけど、平和の和が広がるといいなと思います🍀 8月13日 安部友里絵

内部も破損、地下室を除いて全焼しましたが、爆心地側に開口部がほとんどない、強固な建物であったことから、基本的形態をとどめました。

しかし、建物内部にいた職員は、たまたま地下室にいた野村英三さん(当時47才)を除き、全員死亡しました。

(※) レストハウス=1929(昭和4)年に建った大正屋呉服店のレトロモダンなビルが基にある被爆建物です。広島市の観光案内所兼休憩所として改修を重ね、2020(令和2)年7月、平和記念公園を訪れる人々と、歴史、地域振興、観光などの多様な活動をつなぐ起点として、リニューアルオープン。(レストハウスHPより)

TBS NEWS DIGのドキュメンタリー番組を見た感想

数年前に行った大久野島、懐かしい

原爆や空襲の被害国ではあるけど、毒ガスを製造して、人間に使用した加害国である事も忘れてはならない。戦争に負けた際に大事な記録を抹消してしまった事は大きいですね□

愛媛大会の後、うさぎのエサを買って、大久野島の戦跡巡りをした事は大切な思い出です□□

当時、大久野島で動員されている方のお話をニュース等で拝見するとリアルな言葉が身に染みます□

これからも国によって翻弄されない事を祈ります。

8月11日 安部友里絵



長浦毒物貯蔵庫跡(大久野島)で安部さん 2018年8月

写真で観る晴嵐 28号機修復の全貌 第4話

愛知航空機研究者・渡辺哲国

4. 晴嵐 3機米国へ

晴嵐は結局3機、追浜飛行場に送られた。追浜飛行場に隣接する横須賀空から1機、福山空から1機(空輸)、愛知の修理機28号機である。

28号機は晴嵐の最終量産機で、昭和20年7月5日、愛知航空機・永徳工場においてグラマン F6F 艦上戦闘機の機銃掃射により被弾し、敗戦後も庄内川沿いの水上機駐機場に放置されていた機体である。海軍は愛知に銃撃で破損した28号機の修理を命令した。愛知では、空襲をまぬがれた試作工場と余剰部品、試作機の部品を使い、一応の修理を行なったが、未完成で飛行不能であった。28号機は台車(ドーリー)に搭載され、永徳工場の庄内川滑り(スリップ)から団平船に搭載され、名古屋港に廻航。ここで輸送船に積替え、深浦湾到着後、団平船を使い追浜飛行場に隣接した空技廠水上機班の滑りから格納庫に収容された。

空輸された晴嵐や強風などの水上機は、深浦湾に着水し、空技廠水上機班の滑りから台車を使い格納庫に収容された。

11月に入ると、追浜飛行場に集結させられた100機以上の日本機は、団平船で運ばれ、横須賀第6ドライドックに横づけされた輸送用小型空母にガントリークレーンを使って搭載された。

注1) 28号機のステンシル・データプレートには、「護国 1600228号機」と記入されていた。護国 160は愛知航空機永徳工場を指し、0228が製造番号であるが、02は秘匿のための隠し数字で、最後の28が本当の製造番号である。

当時の記録では、強度試験用の0号機があり、試作機が1、2号機、追加試作機が3~8号機(陸上機をふくむ)、量産機が9~28号機と記されている。また、生産計画は45号機で打ち切りとなっており、永徳工場被爆のため、榎戸工場と新舞子分工場での生産準備を行っていた。

注2) 晴嵐空輸情報:631航空隊にいた二人の士官、操縦員:赤塚一男大尉、偵察員:澤 達生大尉が空輸。

赤塚氏によると、1945年10月復員して郷里にいた所、復員局より呼び出しがあり、晴嵐を福山より横須賀航空隊へ空輸せよとの指令をうけた。飛行機は米軍のマークをつけた。米軍の飛行艇 PBY カタリナに護衛されて愛知県の水上機航空隊・河和航空隊まで飛び、ここで3日ほど待機。再び PBY に護衛されて横須賀航空隊水上班にて飛行機を引き渡した。時期は正確ではないが10月終わり頃。

注3) 横須賀と福山の晴嵐2機は、輸送空母が台風に遭遇し、2機とも喪失したと推定。

次号へつづく



①1996年空撮、愛知機械工業(元愛知航空機・永徳工場)と庄内川周辺、



②台車に載せた水上機を水面に下す滑り(スロープ、スリップ)遺跡



③台車に乗った晴嵐試作機



④被弾し放置されていた晴嵐 28号機

昭和 20 年 8 月 26 日、米空母シャングリラから発進した F6F-5P 写真偵察機は、追浜飛行場の武装解除状況の確認を行った。(⑤～⑨)



⑤追浜飛行場全景



⑥追浜飛行場全景



⑦ 追浜飛行場全景



⑧空技廠水上機班格納庫と滑り



⑨深浦湾と追浜飛行場



⑩横須賀第 6 ドライドックに横づけされた空母コアにガントリークレーンを使って搭載された強風、晴嵐、他

戦跡保存シンポジウム広島大会報告

榎村愛子



9Pよりつづく

※さんと思わず現地でも再会しました。公害運動も語り手の継承問題を抱えており、参考に聞きに来たことでした。

近々では豊川大会(第22回、2018)が開かれましたが、その背景にはネットワークの会員である豊川海軍工廠跡地保存を進める会の存在がありました。瀬戸の皆さんはあまり参加されないとのことでも残念です。

他の会の活動は瀬戸にとっても参考になることは多く、特に大会の3日目の現地スタッフによる戦跡ツアーは、本当に勉強になるかと思えます。毎年夏なので、見学会は暑いですが。

今回の大会趣旨には以下のように広島が書かれています。

「原爆ドームの世界遺産登録を目指す運動は、国史跡の指定基準の改正につながり、明治以降の戦争遺跡について国の史跡文化財登録への道を開きました。また原爆ドームを含む多くの被爆建物の保存は、市民の声や運動があつてこそ実現したものです。その意味で、広島は日本における戦争遺跡保存運動の「原点」といえます。」

また、今回は軍都や加害の歴史(特に陸軍第5師団歩兵第十一連隊がマレー作戦の大虐殺に関わったこと。なのにそれは戦勝、誉として碑に残っており、現地の人が見て問題になっていきます)と共に、広島で現在進行形で起こっている、戦争遺跡の保存をめぐる市との対立とその運動を担う人々が実

行委員会メンバーになっていることがホットであったと思います。

実行委員会長の多賀俊介氏(72歳)は、個人として熊本大会(第23回、2019)から参加しており、ノートルダム清心中・高などの教員を務める中、「広島・ロシマ広島を歩いて考える会」を2010年に設立し、被爆地ヒロシマだけでなく、軍都であった広島など、加害の歴史も含めて総合的に、そしてたくさん歴史の跡を実際に歩いて若い人たちに戦争や平和を伝えてこられました。多賀氏の父親は原爆投下後親族を探しに広島市を訪れた入市被爆者、多賀氏は被爆二世で、原爆記念資料館のピースボランティアも11年され、これまで約750人に話をしてこられたとのこと。もし2019年にリニューアルされた原爆記念資料館を見に行こうといった機会がありましたら(私の今回のもう一つの目的はこちらでした)、多賀さんのガイドをしてもらえると加害の観点を聞けるかと思えます。

次号へつづく



シンポジウム第3分科会で質問される榎村さん

編集後記

今年の夏は、「リモート」で明け暮れた2年間を吹っ飛ばすかのように、各地でいろんな活動が対面開催で行われました。

その中でも、3年ぶりの対面開催になった戦争遺跡保存全国シンポジウムは「戦跡保存の原点」でもある広島市で行われ、会場には全国よりのべ300名以上の方々があつまり活発な討議が行われました。現地見学会も4コースで行われ戦跡保存の本来の意義を改めて感じました。今回のシンポジウムでは若い人達の活躍に勇気をいただいた3日間でした。また旧来の知人とも友好を深めることができ、大変有意義で濃い時間を持つことができました。みなさま本当にありがとうございました。

2022年9月10日(T)

2023年度

会費・カンパのお願い!

本会は総会を持って会計年度が変わります。8月以降にいただいた会費カンパは2023年度に計上されます。同封の振込用紙でご送金ください。よろしく願います。会費カンパ納金済みの方は振込用紙を破棄してください。